

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】令和6年5月31日(2024.5.31)

【公開番号】特開2022-27540(P2022-27540A)

【公開日】令和4年2月10日(2022.2.10)

【年通号数】公開公報(特許)2022-025

【出願番号】特願2021-118809(P2021-118809)

【国際特許分類】

H 02 P 9/14(2006.01)

10

H 02 K 21/14(2006.01)

H 02 P 101/45(2015.01)

H 02 P 103/20(2015.01)

H 02 P 101/25(2015.01)

【F I】

H 02 P 9/14 H

H 02 K 21/14 M

H 02 K 21/14 G

H 02 P 101:45

20

H 02 P 103:20

H 02 P 101:25

【手続補正書】

【提出日】令和6年5月23日(2024.5.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

30

【請求項1】

内燃機関に付帯される回転電気機械であって、

前記内燃機関のクランク軸との間に機械的な動力伝達経路を持つ回転軸と、

前記回転軸の周囲に配置されたステータコイルと、

前記ステータコイルと離間して前記ステータコイルの対向面に位置する磁石を備えたロータと、を有し、

前記ステータコイルは、3相以上から成り、各相が複数のコイルから構成され、各相を構成するコイルの接続形式を直列形式と並列形式、並列形式に更に1つのコイル若しくは2以上のコイルを直列に繋げたもののいずれかへの切り替えを可能とする回路部を備え、前記回路部にはドライバが接続され、

前記ドライバは、前記回転軸の回転数に基づいて切り替え信号を出力する旨の指令信号を出力し、

前記切り替え信号を出力する旨の指令信号は、前記回転軸の回転数が予め定められた閾値よりも高いか否かの判定に基づいて出力し、

前記ステータコイルに対して電力を供給する際には、前記回路部により前記直列形式が選択され、

前記回転軸の回転数が前記閾値よりも高くなった際には、前記回路部により前記並列形式が選択されるように、指令信号を出力することを特徴とする回転電気機械。

【請求項2】

能動的または受動的な動力の入出力が成される動力伝達経路を持つ回転軸と、

50

前記回転軸の周囲に配置された非回転のステータコイルと、
前記ステータコイルと離間して前記ステータコイルの対向面に位置する磁石を備えたロータと、を有し、

前記ステータコイルは、3相以上から成り、各相が複数のコイルから構成され、各相を構成するコイルの接続形式を直列形式と並列形式、並列形式に更に1つのコイル若しくは2以上のコイルを並列に繋げたもののいずれかへの切り替えを可能とする回路部を備えることにより、発電機と動力源を兼ねた装置とし、

前記回路部にはドライバが接続され、

前記ドライバは、前記回転軸の回転数に基づいて切り替え信号を出力する旨の指令信号を出力し、

10

前記切り替え信号を出力する旨の指令信号は、前記回転軸の回転数が予め定められた閾値よりも高いか否かの判定に基づいて出力し、

前記ステータコイルに対して電力を供給する際には、前記回路部により前記直列形式が選択され、

前記回転軸の回転数が前記閾値よりも高くなった際には、前記回路部により前記並列形式が選択されるように、指令信号を出力することを特徴とする回転電気機械。

20

30

40

50